

2019年 ピースボート地球大学 特別プログラム 「ともに築く平和で包摂的なアジア」

2019年8月3日(土)～8月23日(金) [21日間]

大阪～広島～長崎～釜山・ソウル(韓国)～ウラジオストック(ロシア)～室蘭～石巻～神戸

PEACE BOAT

ピースボート地球大学とは

ピースボート地球大学はピースボートの船旅を活用した国際交流・平和教育のためのプログラムです。訪れる寄港地では現地実習(エクスポージャー)、洋上ではゼミを行い、世界で起きている問題を自分の問題として考える視点を養い、理解を深めます。とりわけ地球大学「特別プログラム」は、世界中から集まる若者を対象に英語で行う短期集中型のプログラムです。

※「ピースボート地球大学」は、NGOピースボートがコーディネートする教育プログラムです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。



プログラム行程

参加者は8月3日(土)に大阪に集合。オリエンテーションを経て大阪港からオーシャンドリーム号に乗船しました。ピースボート「日本一周クルーズ」の行程に沿って広島・長崎・室蘭・石巻、また8月10日から14日にかけては本船を一時離脱し釜山・ソウル・ウラジオストックでエクスポージャーを行いました。プログラムは8月23日(金)に神戸港にて終了しました。

参加者

8ヶ国・地域 35名

日本10名 台湾10名 韓国5名
マレーシア3名 アメリカ合衆国2名
フィリピン2名 タイ2名 中国1名

ピースボートが各国にもつ提携大学および大学やNGOのネットワーク(下記参照)から集まりました。

・東京外国語大学(日本) 「『コンフリクト耐性』を育てる地域研究教育システムの開発と国際職業人教育機能の高度化」プロジェクトとして5名参加(学内選抜有2単位)。

・龍応台基金会 Lung Yingtai Cultural Foundation(台湾) 財団の奨学金事業として5名参加(選抜有)。

・慶熙大学(韓国) 同大ヒューマンタスカレッジの教養プログラムの一環としてソウルまで5名参加(選抜有)。

・グローバル教育イノベーション推進機構 [IIGE] & アジア太平洋大学交流機構 [UMAP]

関西大学と東洋大学が事務局を務める両機構の連携プログラム UMAP-COIL Joint Honors Program の一環として16名参加、一部独自プログラムあり(選抜有4単位)。

ナビゲーター

秋林こずえ | 同志社大学グローバルスタディーズ研究科教授

クレイグ・シーリー | ジェームズマディソン大学教授

アレクシス・ダデン | 歴史学者、コネチカット大学教授

アンセルモ・リー | アジア民主主義ネットワーク(ADN)およびアジア開発連盟(ADA)創設者・シニアアドバイザー

ゲスト講師

忍足謙朗 | 元世界食糧計画アジア地域局長

佐藤洋治 | ワンアジア財団理事長

コーディネーター(ピースボート)

川崎哲、島山澄子、

ルイス・ソレンセン、コル・ハートン



「地球大学特別プログラム」の特徴 ～ アジアから世界を変える

多様性を知る

地球大学にはアジア太平洋各国から参加者が集まります。バックグラウンドや専門の違う参加者と経験や意見を交わすことで、物事にはいくつもの見方があることを知り、様々な視点を比較・統合していく力を養います。

英語を使う

言語は学びのツールです。英語「を」学ぶのではなく英語「で」学ぶのが地球大学。ディスカッションやプレゼンテーションも行います。各地のアクセントに触れながら、グローバルコミュニケーションの力を鍛えます。

現地に学ぶ(エクスポージャー)

エクスポージャー(現地実習)を通して平和や人権、環境問題を検証し、現地に暮らす人々とともに解決策を考えます。「かわいそう…」から「私が変わる!」に変わる。他人事から自分事へ。それが平和な社会を築く当事者への第一歩です。

プログラム内容

アジアにおける平和と安全保障 | 国家の安全保障、人間の安全保障、共通の安全保障



日本の帝国主義の歴史や原爆投下、朝鮮戦争などを中心に20世紀以降のアジア地域の歴史を学びました。広島と長崎では被爆者の証言を聞き、元広島市長の平岡敬氏と「アジアの中の原爆」について意見交換をしました。また、岡まさはる記念長崎平和資料館（長崎）や日帝強制動員歴史館（釜山）、中国人殉難烈士慰霊碑（室蘭）への訪問を通じて戦時下の加害や強制労働について理解を深めました。さらに韓国と北朝鮮の間の非武装地帯の視察やウラジオストックのロシア海洋国立大学の訪問では、核問題や領土問題など現在の安全保障上の問題も取り上げました。

誰一人取り残さない社会とは | 人権、人間の尊厳、社会的正義



戦争や武力紛争においてとりわけ女性が大きな被害をこうむるということを経験と女性の人権博物館（ソウル）の訪問と慰安婦などをテーマにした秋林氏のゼミで学びました。表現の自由や民主主義のありかたについては民主人権記念館（ソウル）で韓国のケースを学び、さらにリー氏の洋上ゼミでは参加者がそれぞれ出身地域の状況について発表しました。北海道に向けて航海中の洋上では、ダデン氏がアイヌを事例に先住民の権利についてゼミを行いました。さらに石巻では災害という視点からも安全・安心できる社会とは何かということについて考えました。

めざす未来をつくる手段 | 政治的アクションから国際法まで



社会に変革を起こす主体になる手段にはどのようなものがあるのか。洋上ではナビゲーターやゲスト講師のアドバイスを受けながら、核軍縮交渉のシミュレーション、オピニオン記事の書き方、効果的なプレゼンテーションの仕方、SDGsの教材づくりとワークショップづくりなど、様々なアクションの形を実践を通して学びました。エクスポージャーでは戦争や災害の記憶の継承をしようと奮闘する若者に出会った他、ビジネスを通して高齢化や障がい者の問題、災害後のコミュニティ支援や地域創生などの社会課題の解決に取り組む動きがあることも知りました。

SDGs アクションチャレンジ | 行動できる地球市民をめざして



プログラム期間中、参加者は2回の「SDGs アクションチャレンジ」に取り組みました。準備段階として、シーリー氏のゼミで、価値観の異なるメンバーでの協働作業のヒントを得ました。1回目のアクションでは学生が16のグループにわかれ、それぞれ16あるSDGsのうちの一つを担当し、ゲームやクイズも取り入れながらブースで紹介しました。2回目はグループ編成からアクションを企画・立案・実践まですべてを参加者が行いました。アジアの社会問題を扱うトークショー、平和のためのコンサート、異文化理解のためのワークショップ、海洋保護のための調査発表や募金活動など、工夫が凝らされた多岐にわたるアクションが展開されました。

寄港地プログラム概要

広島 [8/6] 被爆証言と平岡元市長との意見交換、平和記念資料館、平和公園 **長崎 [8/9]** 現地の学生の案内での平和公園、長崎大学で被爆者との対話 **釜山 [8/10]** 日帝強制動員歴史館、国連記念公園 **ソウル周辺 [8/11-13]** 平和教育団体ピースモモアレンジでの非武装地帯視察、民主人権記念館、戦争と女性の人権博物館、難民人権センター及び参与連帯職員との意見交換 **ウラジオストック [8/14]** ロシア国立海洋大学の視察および学生との意見交換 **室蘭 [8/19]** 市役所訪問・市長との面会、ボルタ工房、中国人殉難烈士慰霊碑 **石巻 [8/21]** 東日本大震災と津波についての語り部と街歩き、移動支援 RERA によるプレゼンテーション、石巻市復興まちづくり情報交流館、ISHINOMAKI2.0 運営の IRORI にて地域の取り組みに関わる若手との意見交流会

2020年度の開催予定

ピースボートでは2020年8月に2～3週間程度の地球大学特別プログラムの実施を予定しています。大学提携などに関するご相談やお問い合わせは右記連絡先までお寄せください。

問い合わせ先

ピースボート事務局
Tel: 03-3363-7561 Fax: 03-3363-7562
univ@peaceboat.gr.jp
<http://peaceboat.org/projects/univ>